

# JSP-53W 鋼桁の送り出し架設検討

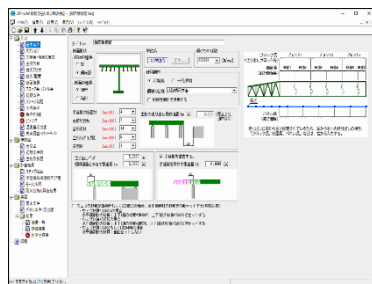
## 概要

JSP-53W は、鋼構造架設設計施工指針(2012年版、土木学会)に基づき、鋼箱桁および鈑桁の手延機による送り出し架設工法(送り出し装置を用いる)の全工程に対する断面力を自動的に算出し、断面および腹板座屈の検討、照査を行います。腹板の座屈照査は道路橋示方書・同解説 I 共通編、II 鋼橋・鋼部材編(平成 29 年 11 月)、DASt Richtlinie 012 鋼板の安定照査(1978 年 10 月、西独鋼構造委員会)、鋼構造架設設計施工指針(2012 年版、土木学会)を用います。

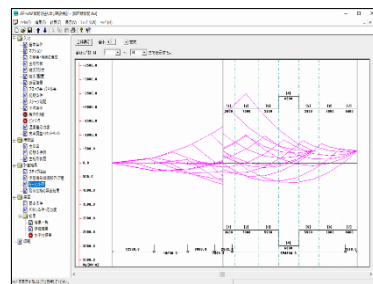
## 特長

- ① 支点撤去、ブロック追加、支点設置を自動で行い、たわみ、断面力をステップ毎に算出し、断面照査を行います。
- ② 負反力が生ずる支点の対処方法は以下より選択できます。
  - ◆処理なし
  - ◆最後部移動支点を撤去する(方式 A)
  - ◆方式 A でも負反力が生じた場合は、最大負反力点を撤去し、負反力支点がなくなるまで繰り返す
  - ◆最大負反力支点から順に、負反力支点がなくなるまで撤去する
- ③ 主桁および手延機のキャンバー差の断面力を考慮できます。
- ④ 橋脚の標高、製作そり差、ステージ(作業台)の勾配を考慮できます。
- ⑤ 主桁断面形状は、以下より選択できます。
  - ◆RC床版：鈑桁(1主桁)、箱桁(1主桁)
  - ◆鋼床版：鈑桁(1主桁)、箱桁(1主桁)
- ⑥ 支点のジャッキアップ、ダウンはステップの範囲を指定して設定できます。
- ⑦ 盛り替え方法については、自動的に行う 2 つと、オプションで選択して行う 2 つの計 4 つがあります。
  - ◆可動支点が盛り替え長以内に入ったとき(可動支点ありの場合)
  - ◆桁端が盛り替え長以内に入ったとき(可動支点なしの場合)
  - ◆安定計算でアウトになったとき(オプション)
  - ◆手延機が橋脚を通過したとき(オプション)
- ⑧ 腹板座屈の照査を行います。

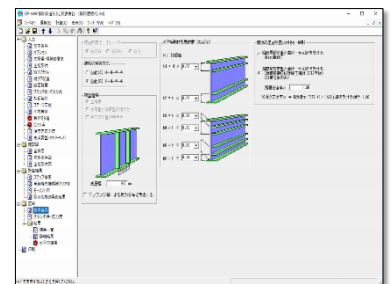
## 画面例



入力/基本条件



計算結果/モーメント図



座屈/基本条件

## 制限

節点数	: 200 節点	主桁ブロック数	: 100 ブロック
支間数	: 20 支間	ステップ数	: 300 ステップ
主桁断面数	: 100 断面	手延機断面数	: 30 断面

## 動作環境

Windows 8.1/10

Microsoft®, Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

## 販売価格

使用許諾料	1,400,000 円	(税込価格: 1,540,000 円)
追加 1 ライセンス料	140,000 円	(税込価格: 154,000 円)
サポートサービス料(必須)*1	10,000 円	(税込価格: 11,000 円)/年間

\*1 サポートサービス料には、問合せサポートおよびマイナーバージョンアップ料が含まれています。